



令和8年版
全国がん登録届出マニュアル
ポイント解説集



令和8年7月
公益財団法人兵庫県健康財団
がん登録室

目次

I .概要	がん登録・全国がん登録とは	2
	届出の流れ	3
	届出に必要なもの	4
	届出の対象	6
II .届出	届出の時期	9
	届出の方法	10
	届出項目	11
	まちがいやすい項目をピックアップ	12
	⑧ 側性	13
	⑨ 原発部位 ⑩ 病理診断 プルダウンリスト	14
	⑮ 外科的治療の有無	29
	⑯ 鏡視下治療の有無	30
	⑰ 内視鏡的治療の有無	31
	⑱ 外科的・鏡視下・内視鏡的治療(観血的治療)の範囲	32
	⑳ 放射線治療の有無	33
	㉑ 化学療法の有無	34
	㉒ 内分泌療法の有無	35
	㉓ その他の治療の有無	36
III .付録	届出項目 ⇄ 届出マニュアル 参照ページ 早見表	38
	進展度 UICC TNM分類対応表 (UICC 8 th)	39
	問い合わせ先	56

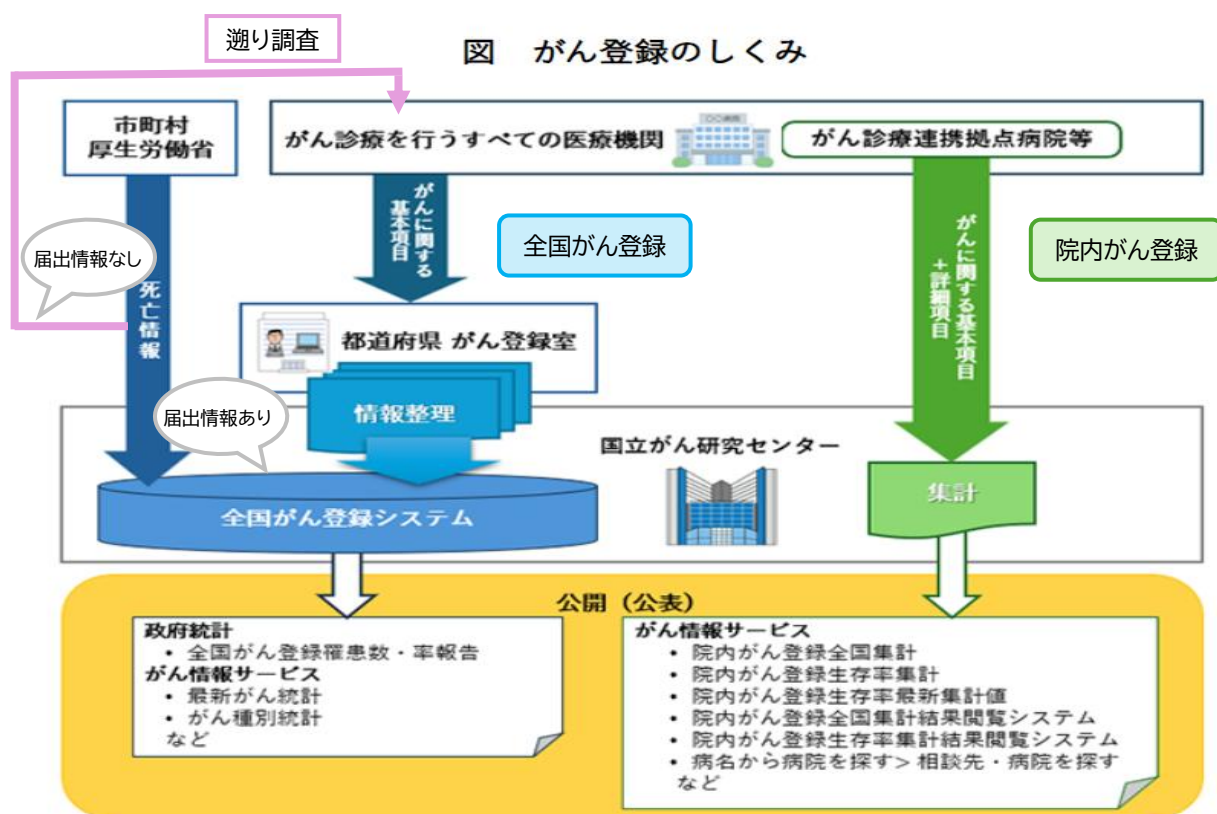
I.概要

がん登録・全国がん登録とは

がん登録は「がん登録等の推進に関する法律(以下「法」という)」に基づいて、がんの診断や治療などに関するデータを収集・管理・分析する制度のことです。

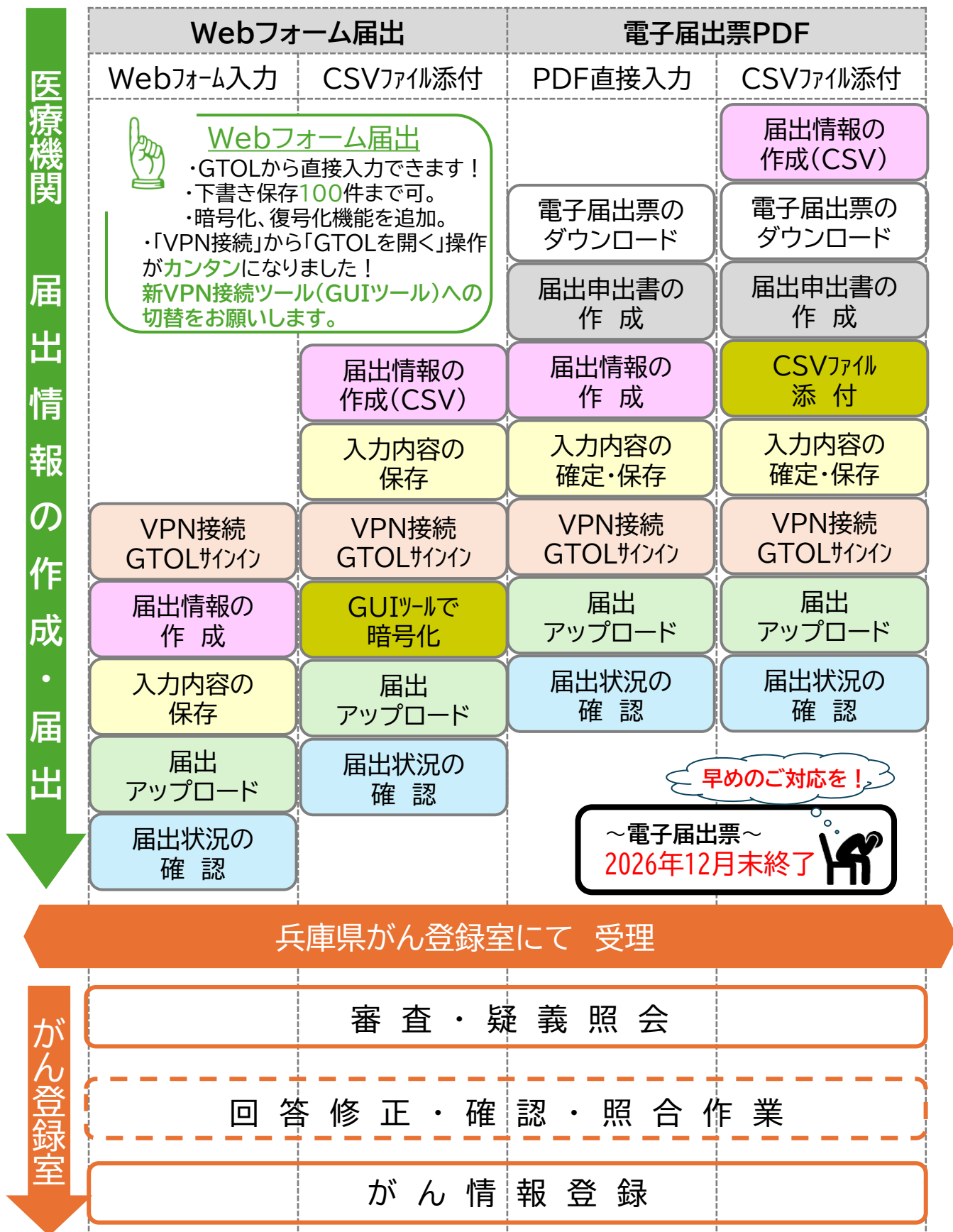
「がん登録」とは、全国がん登録と院内がん登録のことをいい、そのうち全国がん登録とは、国及び都道府県による利用及び提供のために、国が国内におけるがんの罹患、診療、転帰等に関する情報をデータベースに記録し、保存することをいいます。このしくみは、2016年1月より施行しています。

日本にあるがん診療を行うすべての医療機関では、がんと診断された個人のがんの種類や診断日、進行の程度等の決められた情報を整理し、法第6条に基づき、都道府県知事へ届け出ることが義務付けられています。



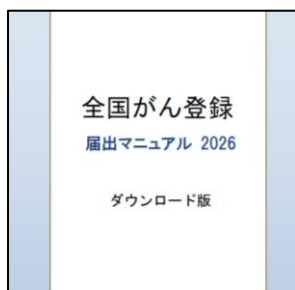
※上の図は、国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録のしくみ」を一部加工しています。

届出の流れ GTOL利用による届出フロー



届出に必要なもの

● 全国がん登録届出マニュアル2026（ダウンロード版）



2026年4月に改訂されました。
最新版のご準備をお願いします。

がん情報サービス>医療関係者向け>がん対策情報>
がん登録>「がん登録情報の収集」病院・診療所向け情報>
「全国がん登録」全国がん登録 届出マニュアル2026

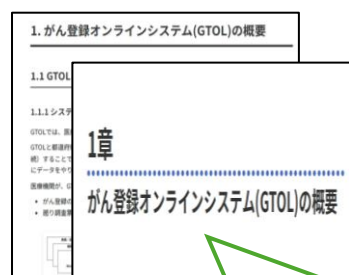
https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/registration_hospital/rep-manu.html

● がん登録オンラインシステム(GTOL) 利用マニュアル

★新機能(届出のWebフォーム化・コミュニケーション機能)が追加されました。
GUIツールのインストールをお願いします。

がん情報サービス>医療関係者向け>がん対策情報>
がん登録>「がん登録情報の収集」病院・診療所向け情報>
「全国がん登録」全国がん登録への届出>
GTOL(がん登録オンラインシステム)

https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/registration_hospital/e-rep/online.html



GTOL利用マニュアル
最新版(2026/3/30)を
ご準備ください

● がん登録オンラインシステム(GTOL)

全国がん登録への届出に必要なシステムです。
GTOLを利用するには、利用申請が必要です。

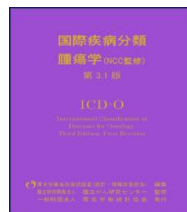
国立がん研究センター(がん情報サービス)の
ページから、利用仮申請をおこなってください。

<https://entry.gtol.ncc.go.jp>



【書 籍】

●国際疾病分類 腫瘍学 第3.1版 (ICD-O-3.1) (一般財団法人 厚生労働統計協会 発行)



- ▶ 腫瘍の局在(部位)と形態診断(病理組織診断)の組み合わせで分類します。
- ▶ 局在コード・形態コード・コーディングルール等が記載されています。
- ▶ 索引(日本語・英語)があり、局在用語や形態用語のコードを検索できます。
※2023年1月以降は、ICD-O-3.2 (ダウンロード版のみ) で届出してください。
(局在コードについては、ICD-O-3.1に基づきます。)

【ダウンロード資料】 ～国立がん研究センター「がん情報サービス」より～

①進展度、UICC TNM分類対応表 (72部位、UICC第8版準拠・2022年7月25日更新) (巻末付録にもあります)

- ▶ 腫瘍の大きさやリンパ節転移の有無等により、UICC TNM分類と進展度を判断することができます。

②部位別テキスト (主要5部位、胃・大腸・肝・肺・乳腺)

③部位別テキスト (主要5部位以外)

- ▶ 部位別に原発部位の解剖、詳細な局在(部位)コード、形態(組織型)コード、病期分類 (UICC TNM分類、進展度)、ルールが記載されています。

④国際疾病分類 腫瘍学 第3.2版 (ICD-O-3.2)

- ▶ 形態コードのみの提供です。
- ▶ 2023年1月以降は、ICD-O-3.2に従って届出をします。
ただし、ICD-O-3.2版では局在コードの提供がないため、ICD-O-3.1版を代用します。

①・② ➡ https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/hospital/manual.html

③・④ ➡ https://ctr-info.ncc.go.jp/hcr_info/learn/

届出の対象

● 届出の必要ながんの種類

https://ctr-info.ncc.go.jp/hcr_info/learn

国際疾病分類腫瘍学-第3版(ICD-O-3)に基づいて分類された以下の腫瘍

1. 悪性新生物(性状コード3) および 上皮内癌(性状コード2)

⑩病理診断・形態コード(6けた)の全体構造			新生物(腫瘍)の性状を表す 性状コード	
#####	#	#	0 良性	1 良性・悪性の別 不詳
組織／細胞型 形態コード	性状 性状コード	分化度など 分化度コード	2 上皮内癌	3 悪性・原発部位

※2026年4月現在の最新版は3.2版(ICD-O-3.2)です。
※全国がん登録届出マニュアル 付録[2] も参照してください。

2. 髄膜又は脳、脊髄、脳神経その他の中枢神経系に発生した腫瘍
※性状コードが「0 良性」、「1 良性・悪性の別 不詳」も登録対象とします。

【登録対象の局在コード】

C70 髄膜		C71.6	小脳、NOS	C72.5	脳神経、NOS
C70.0	脳髄膜	C71.7	脳幹	C72.8	脳及び中枢神経系の境界部病巣
C70.1	脊髄膜	C71.8	脳の境界部病巣		
C70.9	髄膜、NOS	C71.9	脳、NOS	C72.9	神経系、NOS
C71 脳		C72 脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系		C75 その他の内分泌腺及び関連組織	
C71.0	大脳				
C71.1	前頭葉	C72.0	脊髄	C75.1	下垂体
C71.2	側頭葉	C72.1	馬尾	C75.2	頭蓋咽頭管
C71.3	頭頂葉	C72.2	嗅神経	C75.3	松果体
C71.4	後頭葉	C72.3	視神経		
C71.5	脳室、NOS	C72.4	聴神経		

3. 卵巣腫瘍性疾患 ※下記のものに限ります。

【登録対象の形態コード】

形態コード	組織診断名	形態コード	組織診断名
8442/1	境界悪性漿液性乳頭状のう胞腫瘍	8472/1	境界悪性粘液性乳頭状のう胞腺腫
8442/1	境界悪性漿液性のう胞腺腫	8472/1	境界悪性粘液性のう胞腫瘍
8442/1	境界悪性漿液性表在性乳頭腫瘍	8313/1	境界悪性明細胞のう胞腫瘍
8451/1	境界悪性乳頭状のう胞腺腫		

4. 消化管間質腫瘍 (GIST)
※偶発的に発見され、治療対象とならないものは登録対象外となります。

●届出の必要な病院等

- ・すべての病院
- ・指定された診療所



●届出の必要な患者

- ・自施設において、患者の疾病を「がん」として診断した、および／または、治療等の診療行為をした場合
- ・転移や再発したがんの治療のために自施設を受診された場合

●届出の対象となる期間

- ・「届出の必要な患者」のうち、その診断日または治療等を開始した日が、2016年1月1日以降の症例
- ・または他施設診断の症例で、自施設への紹介日が、2016年1月1日以降の症例

●多重がんの場合、それぞれ別のがんとして届け出る。(1腫瘍1登録)

- ・一方が他方の進展・再発・転移ではない
- ・側性のある臓器 左右それぞれに存在
- ・同じ局在コード3ケタ(C〇〇が同じ)に、複数の組織型(M△△△△)
- ・同じ組織型(M△△△△)だが、部位局在コード3ケタ(C〇〇)が違う

※皮膚、大腸は局在コード4ケタめ(C〇〇●)が異なると別部位と考える。

※下記腫瘍が左右に診断された場合は、両側性の単一腫瘍として登録する。

- ・卵巣腫瘍(同一組織型)
- ・腎臓のウィルムス腫瘍(腎芽腫)
- ・網膜芽細胞腫

●届出の対象の判断・・・自施設で当該がんの診断・治療に関わったかどうか

「がん」と診断されている症例で、

- ①自施設を初診している
- ②自施設で診断している
- ③自施設で治療または経過観察をしている



①～③のいずれかが該当すれば、届出対象となる。

◎ 届出対象となるもの	✕ 届出対象とならないもの
がんの既往あり。 自施設へはがん以外の疾患で入院している。 前医(紹介医)よりがんに関する薬を処方するよう依頼があり、自施設で処方している。	がんの既往あり。 自施設へはがん以外の疾患で入院している。 がんの治療に関しては、まったくノータッチである。
緩和ケア病棟に紹介となったがん患者。 積極的な治療は希望せず、看取りの方針となった。	他施設でがん治療中の患者。 自施設には検査のみ受診した(依頼検査)。 自施設ではがんの治療に関しては、まったくノータッチである。
精神科疾患で入院した患者。 他施設でがんと診断されていた。 がんの疼痛軽減のために鎮痛薬を処方した。	乳癌術後の乳房再建のみの目的で受診した。
リハビリテーション病院において、がんとかんによる治療による病状を軽減するために、リハビリを施行した。	
訪問看護サービスを利用中のがん患者で、訪問看護ががん治療計画の一環である場合。	

Ⅱ.届出

届出の時期

例年より**早く**
なっています！

● 届出の時期

2025年診断症例については、

2026年11月30日(月)までに届出をお願いします。

病院等の別	2025年診断症例の 推奨届出時期	備考
がん診療連携拠点病院	2026年 8月 末日	例年どおり
その他の 院内がん登録実施病院等	2026年 9月 末日	例年どおり
上記以外の病院・指定診療所	2026年11月30日(月) まで随時	1ヶ月早期化 (※)

※厚生労働省のスケジュール見直しによる(全国がん登録データの公表早期化のため)

★ 2016年1月1日以降の診断症例で、未届け(届出もれ)のものがある場合は、上記期間内に併せて届出してください。

● 届け出るところ

【兵庫県の全国がん登録 届出先】

公益財団法人兵庫県健康財団 がん登録室

〒651-2103 神戸市西区学園西町6-3-1

TEL 078-793-9340

届出の方法

- 全国がん登録の届出方法は、4種類あります。

すべて「がん登録オンラインシステム(GTOL)」を利用します。

届出方法		説 明
Web フォーム	直接入力	2026年からの新機能です。 GUIツールをインストール後、使用できます。
	CSVファイル添付	
電 子 届出票	直接入力	旧システムツールで使用します。 2026年12月末日で機能終了予定 です。
	CSVファイル添付	

- ★ GTOL をまだご利用でない医療機関は、
国立がん研究センター(がん情報サービス)のページから、
利用仮申請をおこなってください。

<https://entry.gtoll.ncc.go.jp>

- ★ やむを得ない理由でGTOLを利用できない場合は、
兵庫県がん登録室までご連絡ください。
作成した届出票を保存するCD-Rと返送用の簡易書留封筒を
送付します。

【連絡先】

兵庫県健康財団 がん登録室 TEL 078-793-9340

届出項目

- 全国がん登録の届出項目は、次の4つの情報で構成されています。

患者基本情報	① 病院等の名称 ～ ⑦ 診断時住所
腫瘍情報	⑧ 側性 ～⑰ 進展度・術後病理学的
初回の治療情報	⑱ 外科的治療の有無 ～ ㉕ その他の治療の有無
届出時の状況・その他	㉖ 死亡日 備考

全国がん登録届出マニュアルをご参照のうえ、届出情報を作成してください。

- 届出の取り消し、訂正について

すでに届出を完了した届出票についての取り消し、訂正については、
兵庫県がん登録室までご連絡ください。

訂正の再提出は不要です。

【連絡先】

兵庫県健康財団 がん登録室 TEL 078-793-9340

「がんではなかった」という情報もご連絡を！

まちがいやすい項目をピックアップ

● ⑧ 側性

側性のある臓器は決まっています。【P. 13参照】

側性のない臓器は、「7.側性なし」を選択します。

「C80.9 原発部位不明」は、「7.側性なし」を選択します。

● ⑨ 原発部位・局在コード

● ⑩ 病理診断 組織型・性状コード

Webフォーム届出、電子届出票PDF、
Hos-canRでは、各プルダウンリストから、
該当するものを選択します。

【P. 14～P. 28参照】

⑨該当する部位が
選択肢にない場合

→最も近い部位を選択し、
正しい部位を備考へ記入
してください



⑩病理診断 組織型に該当する組織診断
名がない、または、組織診断名が不明

→「8000/3悪性腫瘍」を選択してください



● ⑮ 外科的治療の有無

● ⑯ 鏡視下治療の有無

● ⑰ 内視鏡的治療有無

● ⑲ 放射線療法の有無

● ⑳ 化学療法の有無

● ㉑ 内分泌療法の有無

● ㉒ その他の治療の有無

初回治療のうち、各治療に
「含めるもの」と「含めないもの」が
あります。

【P. 29～P. 31、P. 33～P. 36参照】

● ㉓ 外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲(観血的治療の範囲)【P. 32参照】

「腫瘍が残存しない状況になったかどうか」、
初回治療としての観血的治療の範囲を、総合的に判断します。

自施設で観血的治療を施行していない場合は、
「6.観血的治療なし」を選択します。

⑧ 側性

国際疾病分類腫瘍学 第3.1版（ICD-0-3.1）より引用

● 側性のある臓器

この表にない原発部位の側性は、「7.側性なし」

C07.9	耳下腺	C49.2	下肢及び股関節部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織
C08.0	顎下腺	C50.0	乳頭 E'
C08.1	舌下腺	C50.1	乳房中央部 E
C09.0	扁桃窩	C50.2	乳房上内側4分の1 A
C09.1	扁桃口蓋弓	C50.3	乳房下内側4分の1 B
C09.8	扁桃の境界部病巣	C50.4	乳房上外側4分の1 C
C09.9	扁桃、NOS	C50.5	乳房下外側4分の1 D
C30.0	鼻腔	C50.6	乳腺腋窩尾部 C'
C30.1	中耳	C50.8	乳房の境界部病巣
C31.0	上顎洞	C50.9	乳房、NOS
C31.2	前頭洞	C56.9	卵巢
C34.0	主気管支	C57.0	卵管
C34.1	上葉、肺	C62.0	停留精巣
C34.2	中葉、肺	C62.1	下降精巣
C34.3	下葉、肺	C62.9	精巣、NOS
C34.8	肺の境界部病巣	C63.0	精巣上体
C34.9	肺、NOS	C63.1	精索
C38.4	胸膜、NOS	C64.9	腎、NOS
C40.0	上肢の長骨、肩甲骨及びその関節	C65.9	腎盂
C40.1	上肢の短骨及びその関節	C66.9	尿管
C40.2	下肢の長骨及びその関節	C69.0	結膜
C40.3	下肢の短骨	C69.1	角膜、NOS
C41.3	肋骨、胸骨、鎖骨及びその関節	C69.2	網膜
C41.4	骨盤骨、仙骨、尾骨及びその関節	C69.3	脈絡膜
C44.1	眼瞼	C69.4	毛様体
C44.2	外耳	C69.5	涙腺
C44.3	その他及び部位不明の顔面の皮膚	C69.6	眼窩、NOS
C44.5	体幹の皮膚	C69.8	眼及び付属器の境界部病巣
C44.6	上肢及び肩の皮膚	C69.9	眼、NOS
C44.7	下肢及び股関節部の皮膚	C74.0	副腎皮質
C47.1	上肢及び肩の末梢神経及び自律神経系	C74.1	副腎髄質
C47.2	下肢及び股関節部の末梢神経及び自律神経系	C74.9	副腎、NOS
C49.1	上肢及び肩の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織	C75.4	頸動脈小体

⑨ 原発部位 ⑩ 病理診断

Webフォーム届出/電子届出票PDF

⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

		= 側性のある臓器		
大分類	⑨原発部位・詳細分類		⑩病理診断・組織型・性状	
脳、脊髄、脳神経 その他の 中枢神経	局在 コード	原発部位	形態 コード	組織診断名
	C71.0	大脳	8000/0	良性腫瘍
	C71.1	前頭葉	8000/1	良悪性不詳の腫瘍
	C71.2	側頭葉	8000/3	悪性腫瘍
	C71.3	頭頂葉	8271/0	プロラクチノーマ
	C71.4	後頭葉	8272/0	下垂体腺腫
	C71.5	脳室系	8720/3	悪性黒色腫
	C71.6	小脳	9064/3	胚腫
	C71.7	脳幹(中脳、橋、延髄)	9080/3	悪性奇形腫
	C71.8	脳、NOS	9121/0	海綿状血管腫
	C72.0	脊髄	9161/1	血管芽腫
	C72.1	馬尾	9350/1	頭蓋咽頭腫
	C72.2	嗅神経	9362/3	松果体芽腫
	C72.3	視神経	9370/3	脊索腫
	C72.4	聴神経	9380/3	悪性神経膠腫
	C72.5	その他の脳神経	9391/3	上衣腫
	C75.1	下垂体・ラクトケ囊	9400/3	アストロサイトーマ
	C75.2	頭蓋咽頭管	9401/3	退形成性アストロサイトーマ
	C75.3	松果体	9421/1	毛細胞性アストロサイトーマ
			9440/3	膠芽腫
			9450/3	希突起膠腫
			9451/3	退形成性希突起膠腫
			9470/3	髄芽腫
			9522/3	嗅神経芽腫(頭蓋内)
			9560/0	神経鞘腫、聴神経腫瘍
			9560/3	悪性神経鞘腫
			9590/3	悪性リンパ腫
</				

Webフォーム届出/電子届出票PDF
⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

		= 側性のある臓器		
大分類	⑨原発部位・詳細分類		⑩病理診断・組織型・性状	
頭頸部、 甲状腺	C00.9	口唇(口唇の皮膚を除く)	8000/3	悪性腫瘍
	C01.9	舌根部	8010/2	上皮内癌
	C02.9	舌(舌根部を除く)	8020/3	未分化癌
	C03.9	歯肉	8041/3	小細胞癌
	C04.9	口腔底	8051/3	ゆう状癌
	C05.0	硬口蓋	8070/2	上皮内扁平上皮癌
	C05.1	軟口蓋 (軟口蓋の鼻咽頭表面を除く)	8070/3	扁平上皮癌
	C06.0	頬粘膜	8071/3	角化型扁平上皮癌
	C06.9	口腔	8076/3	微小浸潤性扁平上皮癌
	C07.9	耳下腺	8082/3	リンパ上皮癌
	C08.0	顎下線	8121/3	シュナイダー癌(鼻腔・副鼻腔)
	C08.1	舌下線	8140/3	腺癌
	C08.9	大唾液腺	8200/3	腺様のう胞癌
	C10.9	中咽頭	8246/3	神経内分泌癌
	C11.9	上咽頭(鼻咽頭)	8260/3	乳頭状腺癌
	C13.9	下咽頭	8330/3	ろ胞癌、NOS
	C30.0	鼻腔	8345/3	髄様癌 (C73.9甲状腺)
	C30.1	中耳	8430/3	粘表皮癌
	C31.0	上顎洞	8440/3	のう胞腺癌
	C31.9	副鼻腔	8500/3	浸潤性導管癌
	C32.9	喉頭	8510/3	髄様癌
	C73.9	甲状腺	8550/3	腺房細胞癌
			8560/3	腺扁平上皮癌
			8562/3	上皮-筋上皮性癌
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			8941/3	多形性腺腫内癌(唾液腺)
			8980/3	癌肉腫
			8982/3	筋上皮癌
			9522/3	嗅神経芽腫(鼻腔)
			9590/3	悪性リンパ腫

⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

		= 側性のある臓器		
大分類	⑨原発部位・詳細分類		⑩病理診断・組織型・性状	
食道	C15.0	頸部食道	8000/3	悪性腫瘍
	C15.1	胸部食道	8010/2	上皮内癌
	C15.2	腹部食道	8020/3	未分化癌
	C15.9	食道の2部以上広範又は詳細部位不明	8041/3	小細胞癌
			8070/2	上皮内扁平上皮癌
			8070/3	扁平上皮癌
			8071/3	角化型扁平上皮癌
			8076/3	微小浸潤性扁平上皮癌
			8077/2	扁平上皮内腫瘍、高異型度
			8083/3	基底細胞様扁平上皮癌
			8123/3	類基底細胞癌
			8140/3	腺癌
			8246/3	神経内分泌癌
			8560/3	腺扁平上皮癌
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			8980/3	癌肉腫
			9590/3	悪性リンパ腫
胃、小腸	C16.0	噴門	8000/3	悪性腫瘍
	C16.1	胃底部	8020/3	未分化癌
	C16.2	胃体部	8070/3	扁平上皮癌
	C16.3	胃前庭部	8071/3	角化型扁平上皮癌
	C16.4	幽門	8140/2	上皮内腺癌
	C16.9	胃の2部以上広範又は詳細部位不明	8140/3	腺癌
	C17.0	十二指腸	8211/3	管状腺癌
	C17.1	空腸	8240/3	神経内分泌腫瘍、NOS
	C17.2	回腸(回盲弁を除く)	8246/3	神経内分泌癌
	C17.9	小腸	8260/3	乳頭状腺癌
			8480/3	粘液腺癌
			8490/3	印環細胞癌
			8560/3	腺扁平上皮癌
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			8936/3	消化管間質腫瘍
			9590/3	悪性リンパ腫

Webフォーム届出/電子届出票PDF
 ⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

		= 側性のある臓器		
大分類	⑨原発部位・詳細分類		⑩病理診断・組織型・性状	
盲腸・結腸 直腸、肛門	C18.0	盲腸(回盲弁含む)	8000/3	悪性腫瘍
	C18.1	虫垂	8010/2	上皮内癌
	C18.2	上行結腸	8070/2	上皮内扁平上皮癌
	C18.3	右結腸曲	8070/3	扁平上皮癌
	C18.4	横行結腸	8071/3	角化型扁平上皮癌
	C18.5	左結腸曲	8123/3	類基底細胞癌
	C18.6	下行結腸	8140/2	上皮内腺癌
	C18.7	S状結腸	8140/3	腺癌
	C18.9	その他の結腸	8211/3	管状腺癌
	C19.9	直腸S状結腸移行部	8215/3	肛門腺癌(肛門管)
	C20.9	直腸	8240/3	神経内分泌腫瘍、NOS
	C21.0	肛門(肛門皮膚及び肛門周囲皮膚を除く)	8246/3	神経内分泌癌
	C21.1	肛門管	8260/3	乳頭状腺癌
	C21.2	総排泄腔由来部	8470/3	粘液性のう胞腺癌
			8480/3	粘液腺癌
			8490/3	印環細胞癌
			8542/3	乳房外Paget病
			8560/3	腺扁平上皮癌
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			8936/3	消化管間質腫瘍
			9590/3	悪性リンパ腫
肝、胆管、 胆のう	C22.0	肝(肝内胆管を除く)	8000/3	悪性腫瘍
	C22.1	肝内胆管	8010/2	上皮内癌
	C23.9	胆のう	8041/3	小細胞癌
	C24.0	肝外胆管	8140/2	上皮内腺癌
	C24.1	ファーター乳頭膨大部	8140/3	腺癌
			8160/3	胆管癌(肝内胆管を含む)(C22.0 肝)
			8160/3	胆管癌(胆管細胞癌)
			8170/3	肝細胞癌
			8180/3	肝細胞癌・胆管癌の混合型
			8211/3	管状腺癌
			8240/3	神経内分泌腫瘍、NOS
			8246/3	神経内分泌癌
			8260/3	乳頭状腺癌
			8470/3	胆管のう胞腺癌(粘液性のう胞腺癌)
			8480/3	粘液腺癌
			8490/3	印環細胞癌
			8560/3	腺扁平上皮癌
			8574/3	神経内分泌への分化を伴う腺癌
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			8970/3	肝芽腫
			8980/3	癌肉腫
			9120/3	血管肉腫
			9133/3	悪性類上皮血管内皮腫
			9590/3	悪性リンパ腫

Webフォーム届出/電子届出票PDF
⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

		= 側性のある臓器		
大分類	⑨原発部位・詳細分類		⑩病理診断・組織型・性状	
膵	C25.0	膵頭部	8000/3	悪性腫瘍
	C25.1	膵体部	8010/2	上皮内癌
	C25.2	膵尾部	8020/3	未分化癌
	C25.3	膵管	8041/3	小細胞癌
	C25.9	膵の2部以上広範又は詳細部位不明	8140/3	腺癌
			8150/3	膵神経内分泌腫瘍、非機能性
			8211/3	管状腺癌
			8240/3	神経内分泌腫瘍、NOS
			8246/3	神経内分泌癌
			8260/3	乳頭状腺癌
			8453/2	非浸潤性導管内乳頭状粘液癌
			8453/3	浸潤性導管内乳頭状粘液癌
			8470/3	粘液性のう胞腺癌
			8480/3	粘液腺癌
			8500/3	浸潤性導管癌
			8550/3	腺房細胞癌
			8560/3	腺扁平上皮癌
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			9590/3	悪性リンパ腫
肺・気管	C33.9	気管	8000/3	悪性腫瘍
	C34.0	主気管支	8010/2	上皮内癌(AISを含まず)
	C34.1	上葉、肺	8012/3	大細胞癌
	C34.2	中葉、肺	8013/3	大細胞神経内分泌癌
	C34.3	下葉、肺	8022/3	多形細胞癌
	C34.9	肺の2部以上広範又は詳細部位不明	8041/3	小細胞癌
			8046/3	非小細胞癌
			8070/3	扁平上皮癌
			8071/3	角化型扁平上皮癌
			8140/3	腺癌(AISを含む)
			8240/3	神経内分泌腫瘍、NOS
			8250/3	肺胞置換型腺癌(MIAを含む)
			8252/3	浸潤性非粘液性腺癌
			8253/3	浸潤性粘液性腺癌
			8255/3	混合型腺癌
			8260/3	乳頭状腺癌
			8550/3	腺房型腺癌(腺房細胞癌)
			8560/3	腺扁平上皮癌
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			9590/3	悪性リンパ腫

Webフォーム届出/電子届出票PDF
⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

		= 側性のある臓器		
大 分 類	⑨原発部位・詳細分類		⑩病理診断・組織型・性状	
腎	C64.9	腎(実質)	8000/3	悪性腫瘍
			8120/3	移行上皮癌
			8260/3	乳頭状腺癌
			8310/3	淡明細胞型腎細胞癌
			8312/3	腎細胞癌
			8316/3	のう胞随伴性腎細胞癌
			8317/3	嫌色素性腎細胞癌
			8319/3	集合管癌
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			8960/3	腎芽腫(ウィルムス腫瘍)
			9590/3	悪性リンパ腫
膀胱、尿管 腎盂、尿道	C65.9	腎盂	8000/3	悪性腫瘍
	C66.9	尿管	8010/2	上皮内癌
	C67.0	膀胱三角	8020/3	未分化癌
	C67.1	膀胱円蓋	8033/3	偽肉腫様癌
	C67.2	膀胱側壁	8041/3	小細胞癌
	C67.3	膀胱前壁	8070/3	扁平上皮癌
	C67.4	膀胱後壁	8071/3	角化型扁平上皮癌
	C67.5	膀胱頸部	8120/2	尿路上皮内癌
	C67.6	尿管口	8120/3	尿路上皮癌(浸潤性)
	C67.9	膀胱	8130/2	乳頭状尿路上皮癌、非浸潤性
	C68.0	尿道	8130/3	乳頭状尿路上皮癌
			8131/3	微小乳頭状尿路上皮癌
			8140/3	腺癌
			8246/3	神経内分泌癌
			8260/3	乳頭状腺癌
			8310/3	明細胞腺癌
			8480/3	粘液腺癌
			8490/3	印環細胞癌
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			8980/3	癌肉腫
			9590/3	悪性リンパ腫

⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

	= 側性のある臓器
--	-----------

大 分 類	⑨原発部位・詳細分類	⑩病理診断・組織型・性状
前立腺、 陰茎、 陰のう、 その他	C60.9 陰茎	8000/3 悪性腫瘍
	C61.9 前立腺	8010/2 上皮内癌
	C63.2 陰のう	8020/3 未分化癌
	C63.7 その他の男性生殖器	8041/3 小細胞癌
		8051/3 ゆう状癌
		8070/2 上皮内扁平上皮癌
		8070/3 扁平上皮癌
		8071/3 角化型扁平上皮癌
		8080/2 ケイラー紅色肥厚症
		8081/2 ボウエン病
		8090/3 基底細胞癌
		8120/3 尿路上皮癌(移行上皮癌)
		8140/3 腺癌
		8148/2 上皮内腺腫瘍、高異型度(PIN3を除く)
		8211/3 管状腺癌
		8246/3 神経内分泌癌
		8380/3 類内腺癌
		8401/3 アポクリン腺癌
		8480/3 粘液腺癌
		8490/3 印環細胞癌
		8500/3 浸潤性導管癌
		8542/2 表皮内乳房外Paget病
		8542/3 乳房外Paget病
		8560/3 腺扁平上皮癌
		8720/3 悪性黒色腫
		8800/3 肉腫
		9590/3 悪性リンパ腫

Webフォーム届出/電子届出票PDF
 ⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

 = 側性のある臓器

大 分 類	⑨原発部位・詳細分類	⑩病理診断・組織型・性状
精巣、卵巣	C48.1 骨盤腹膜	8000/3 悪性腫瘍
	C48.2 腹膜	8020/3 未分化癌
	C56.9 卵巣	8070/3 扁平上皮癌
	C57.0 卵管	8071/3 角化型扁平上皮癌
	C62.9 精巣	8140/3 腺癌
		8240/3 神経内分泌腫瘍、NOS
		8310/3 明細胞腺癌
		8323/3 混合細胞腺癌
		8380/3 類内膜腺癌
		8441/3 漿液性癌、NOS
		8442/1 漿液性境界悪性腫瘍 (C56.9卵巣)
		8451/1 乳頭状のう胞腺腫、境界悪性 (C56.9卵巣)
		8460/3 乳頭状漿液性のう胞腺癌
		8461/3 漿液性表在性乳頭癌
		8470/3 粘液性のう胞腺癌(卵巣)
		8472/1 境界悪性粘液性のう胞腫瘍 (粘液性境界悪性腫瘍) (C56.9卵巣)
		8480/3 粘液腺癌
		8570/3 扁平上皮化生を伴う腺癌
		8620/3 悪性顆粒膜細胞腫瘍(卵巣)
		8720/3 悪性黒色腫
		8800/3 肉腫
		8910/3 胎芽性横紋筋肉腫
		8980/3 癌肉腫
		9060/3 未分化胚腫
		9061/3 セミノーマ(精巣)
		9064/3 胚腫
		9070/3 胎芽性癌
		9071/3 卵黄のう腫瘍
		9080/3 悪性奇形腫
		9081/3 奇形癌
		9084/3 悪性転化を伴う奇形腫
		9085/3 混合性胚細胞腫瘍
		9100/3 絨毛癌
		9590/3 悪性リンパ腫

Webフォーム届出/電子届出票PDF
 ⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

		= 側性のある臓器		
大分類	⑨原発部位・詳細分類		⑩病理診断・組織型・性状	
子宮頸部・ 膣	C52.9	膣	8000/3	悪性腫瘍
	C53.9	子宮頸部	8010/2	上皮内癌
			8041/3	小細胞癌
			8070/2	上皮内扁平上皮癌
			8070/3	扁平上皮癌
			8071/3	角化型扁平上皮癌
			8076/3	微小浸潤扁平上皮癌
			8077/2	扁平上皮内腫瘍、高異型度
			8140/2	上皮内腺癌
			8140/3	腺癌
			8310/3	明細胞腺癌
			8380/3	類内膜腺癌
			8384/3	内頸部型腺癌
			8441/3	漿液性癌、NOS
			8480/3	粘液腺癌
			8482/3	内頸部型粘液性腺癌
			8560/3	腺扁平上皮癌
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			9590/3	悪性リンパ腫
子宮体部・ 子宮	C54.0	子宮峡部	8000/3	悪性腫瘍
	C54.1	子宮内膜	8020/3	未分化癌
	C54.2	子宮筋層	8041/3	小細胞癌
	C54.3	子宮底部	8140/2	上皮内腺癌
	C54.9	子宮体部	8140/3	腺癌
	C55.9	子宮(頸部/体部不詳)	8310/3	明細胞腺癌
			8323/3	混合細胞腺癌
			8380/3	類内膜腺癌
			8441/3	漿液性癌、NOS
			8480/3	粘液腺癌
			8560/3	腺扁平上皮癌
			8570/3	扁平上皮化生を伴う腺癌
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			8890/3	平滑筋肉腫
			8930/3	子宮内膜間質肉腫
			8931/3	子宮内膜間質肉腫、軽度
			8933/3	腺肉腫
			8980/3	癌肉腫
			9590/3	悪性リンパ腫

Webフォーム届出/電子届出票PDF
 ⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

		= 側性のある臓器		
大 分 類	⑨原発部位・詳細分類		⑩病理診断・組織型・性状	
外陰、胎盤、 その他	C51.9	外陰	8000/3	悪性腫瘍
	C57.7	その他の女性生殖器	8010/2	上皮内癌
	C58.9	胎盤	8020/3	未分化癌
			8051/3	ゆう状癌
			8070/2	上皮内扁平上皮癌
			8070/3	扁平上皮癌
			8071/3	角化型扁平上皮癌
			8077/2	扁平上皮内腫瘍、高異型度
			8081/2	ボウエン病
			8090/3	基底細胞癌
			8120/3	移行上皮癌
			8140/2	上皮内腺癌
			8140/3	腺癌
			8200/3	腺様のう胞癌
			8260/3	乳頭状腺癌
			8310/3	明細胞腺癌
			8380/3	類内膜腺癌
			8401/3	アポクリン腺癌
			8441/3	漿液性癌、NOS
			8460/3	乳頭状漿液性のう胞腺癌
			8461/3	漿液性表在性乳頭癌
			8480/3	粘液腺癌
			8542/2	表皮内乳房外Paget病
			8542/3	乳房外Paget病
			8720/3	悪性黒色腫
			8800/3	肉腫
			8950/3	ミューラー管混合腫瘍
			8980/3	癌肉腫
			9100/3	絨毛癌
			9590/3	悪性リンパ腫

⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

= 側性のある臓器

大分類	⑨原発部位・詳細分類	⑩病理診断・組織型・性状
乳房	C50.0 E' 乳頭	8000/3 悪性腫瘍
	C50.1 E 乳房中央部	8140/3 腺癌
	C50.2 A 乳房上内側4分の1	8211/3 管状腺癌
	C50.3 B 乳房下内側4分の1	8401/3 アポクリン腺癌
	C50.4 C 乳房上外側4分の1	8480/3 粘液腺癌
	C50.5 D 乳房下外側4分の1	8500/2 非浸潤性導管内癌
	C50.6 C' 乳腺腋窩尾部	8500/3 浸潤性導管癌(乳頭腺癌、充実腺癌、硬癌を含む)
	C50.9 乳房の2部以上広範又は詳細部位不明	8510/3 髄様癌
		8520/2 小葉性上皮内癌
		8520/3 小葉癌
		8522/3 浸潤性導管内癌及び小葉癌
		8540/2 乳房Paget病表皮内癌
		8720/3 悪性黒色腫
		8800/3 肉腫
		9020/3 悪性葉状腫瘍
		9590/3 悪性リンパ腫
皮膚	C44.0 口唇の皮膚	8000/3 悪性腫瘍
	C44.1 眼瞼の皮膚	8070/2 上皮内扁平上皮癌
	C44.2 外耳の皮膚	8070/3 扁平上皮癌
	C44.3 顔面の皮膚その他	8071/3 角化型扁平上皮癌
	C44.4 頭皮及び頸の皮膚	8081/2 ポウエン病
	C44.5 体幹の皮膚	8090/3 基底細胞癌
	C44.6 上肢及び肩の皮膚	8247/3 メルケル細胞癌
	C44.7 下肢及び股関節部の皮膚	8409/3 汗孔癌、NOS
	C44.9 その他の皮膚	8410/3 脂腺癌
	C51.0 大陰唇の皮膚	8542/3 乳房外Paget病
	C51.9 外陰部の皮膚	8720/2 上皮内黒色腫
	C60.9 陰茎の皮膚	8720/3 悪性黒色腫
	C63.2 陰囊の皮膚	8744/3 悪性肢端黒子黒色腫
		8832/3 皮膚線維肉腫
		9120/3 血管肉腫
		9590/3 悪性リンパ腫
		9700/3 菌状息肉症
		9709/3 皮膚T細胞リンパ腫

Webフォーム届出/電子届出票PDF

⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

		= 側性のある臓器		
大 分 類	⑨原発部位・詳細分類		⑩病理診断・組織型・性状	
悪性リンパ腫	C77.0	頭部、顔面及び頸部のリンパ節	9590/3	悪性リンパ腫
	C77.1	胸腔内リンパ節	9591/3	非ホジキン悪性リンパ腫
	C77.2	腹腔内リンパ節	9650/3	ホジキンリンパ腫
	C77.3	腋窩又は腕のリンパ節	9651/3	ホジキンリンパ腫、高リンパ球型
	C77.4	下肢又はそけい部のリンパ節	9652/3	ホジキンリンパ腫、混合細胞型
	C77.5	骨盤リンパ節	9663/3	ホジキンリンパ腫、結節硬化型
	C77.8	多部位のリンパ節	9673/3	マントル細胞リンパ腫
	C77.9	詳細不明のリンパ節	9680/3	悪性リンパ腫、大細胞性B細胞型、びまん性
			9687/3	バーキットリンパ腫
			9688/3	T細胞/組織球豊富型大細胞型B細胞リンパ腫
			9690/3	ろ胞性リンパ腫
			9691/3	ろ胞性リンパ腫、悪性度2
			9695/3	ろ胞性リンパ腫、悪性度1
			9698/3	ろ胞性リンパ腫、悪性度3
			9699/3	辺縁層B細胞リンパ腫
			9702/3	成熟T細胞リンパ腫
			9705/3	血管性免疫芽球性T細胞リンパ腫
			9714/3	未分化大細胞リンパ腫、T細胞及びヌル細胞型
			9715/3	未分化大細胞リンパ腫、ALK陰性
			9827/3	成人T細胞性リンパ腫

⑨原発部位 ・ ⑩組織診断名 プルダウンリスト

	= 側性のある臓器
--	-----------

大 分 類	⑨原発部位・詳細分類	⑩病理診断・組織型・性状
白血病、 骨髄、血液	C42.0 血液(マクログロブリン血症)	9732/3 形質細胞骨髄腫
	C42.1 白血病、骨髄 (マクログロブリン血症を除く)	9761/3 ワルデンストレームマクログロブリン血症
		9800/3 白血病、骨髄、血液
		9811/3 B細胞リンパ芽球性白血病 /リンパ腫、NOS
		9823/3 B細胞慢性リンパ球性白血病 /小リンパ球性リンパ腫
		9827/3 成人T細胞性白血病/リンパ腫 (HTLV-1陽性) すべての変異体を含む
		9835/3 前駆細胞リンパ芽球性白血病
		9861/3 急性骨髄性白血病 (FAB又はWHO型の明示されないもの)
		9863/3 慢性骨髄性白血病
		9866/3 急性前骨髄球性白血病、 t(15;17)(q22;q11-12)
		9867/3 急性骨髄単球性白血病
		9873/3 成熟を伴わない急性骨髄性白血病
		9874/3 成熟を伴う急性骨髄性白血病
		9875/3 慢性骨髄性白血病、BCR/ABL陽性
		9895/3 骨髄異形成症候群を伴う白血病
		9950/3 真性赤血球増加症
		9962/3 本態性血小板血症
		9980/3 不応性貧血
		9983/3 芽球増加を伴う不応性貧血
		9985/3 多系統形成異常を伴う不応性血球減少
		9989/3 骨髄異形成症候群

⑨原発部位・⑩組織診断名 プルダウンリスト

= 側性のある臓器

大分類	⑨原発部位・詳細分類	⑩病理診断・組織型・性状
その他 胸腺、 心臓、 縦隔、 胸膜、 脾、 後腹膜、 腹膜、 眼、 副腎、 内分泌腺、 不明確な 部位、 原発部位 不明 その他	C37.9 胸腺	8000/3 悪性腫瘍
	C38.0 心臓	8010/2 上皮内癌
	C38.1 前縦隔	8020/3 未分化癌
	C38.2 後縦隔	8041/3 小細胞癌
	C38.3 縦隔	8070/2 上皮内扁平上皮癌
	C38.4 胸膜	8070/3 扁平上皮癌
	C42.2 脾	8071/3 角化型扁平上皮癌
	C48.0 後腹膜	8123/3 類基底細胞癌
	C48.2 腹膜	8140/3 腺癌
	C48.8 後腹膜および腹膜の境界部病変	8200/3 腺様のう胞癌
	C69.2 網膜	8240/3 神経内分泌腫瘍、NOS
	C69.4 眼球	8249/3 神経内分泌腫瘍、グレード2
	C69.5 涙腺	8370/3 副腎皮質癌(副腎皮質)
	C69.9 眼	8410/3 脂腺癌
	C74.0 副腎皮質	8441/3 漿液性癌、NOS
	C74.1 副腎髄質	8460/3 乳頭状漿液性のう胞腺癌
	C74.9 副腎	8461/3 漿液性表在性乳頭癌
	C75.0 上皮小体	8580/3 悪性胸腺腫(胸腺)
	C75.9 内分泌腺	8586/3 胸腺癌(胸腺)
	C76.0 頭部、顔面又は頸部	8700/3 悪性褐色細胞腫
	C76.2 腹部	8720/3 悪性黒色腫
	C76.3 骨盤	8800/3 肉腫
	C80.9 原発部位不明	8936/3 消化管間質腫瘍
		9050/3 悪性中皮腫
		9061/3 セミノーマ
		9064/3 胚腫
		9071/3 卵黄のう腫瘍
		9490/3 神経節神経芽腫
		9500/3 神経芽腫
		9510/3 網膜芽腫(網膜)
		9590/3 悪性リンパ腫

⑱ 外科的治療の有無

【外科的治療の定義】

肉眼的視野下の外科的手技による病巣切除術を外科的治療と定義します。光学機器による視野を用いた「鏡視下治療」及び「内視鏡的治療」による病巣切除は含まれません。

★症状の緩和を目的に行われた治療は含みません。

◎ 外科的治療に含めるもの	✕ 外科的治療に含めないもの
子宮頸癌の円錐切除術 (病巣がすべて切除できた場合)	エストロゲン依存性腫瘍に対する 卵巣摘出術 ➡ ㉔内分泌療法
検査として行われた外科的な処置において、結果的に治療が完結した場合の当該処置 (断端陽性でも追加治療がない場合を含む)	前立腺癌の去勢術 ➡ ㉔内分泌療法
	前立腺癌のHoLEP手術 ➡ ㉔内視鏡的治療
レーザー等を腫瘍の焼灼ではなく切除の手段として用い、肉眼的視野下で病巣切除術が行われた場合。	胆嚢癌での腹腔鏡下胆嚢摘除術 ➡ ㉑鏡視下治療
開頭手術における光学機器による視野を用いた病巣切除術 (肉眼的視野に近い)	肺癌での胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 ➡ ㉑鏡視下治療
肝移植(生体肝移植・脳死肝移植)	✕ステント留置術 ✕人工肛門造設術
	➡緩和的治療なので、初回治療(㉑外科的治療～㉕その他の治療)に含めない

⑪ 鏡視下治療の有無

【鏡視下治療の定義】

皮膚切開を加えるなど、自然開口部(*)以外から挿入された光学機器の視野を用いて(光学機器の視野下で)行われる病巣切除術を『鏡視下治療』とします。

* 口唇(腔)、鼻孔(腔)、尿道口、肛門、膣口、乳管等を指す。

★症状の緩和を目的に行われた治療は含みません。

◎ 鏡視下治療に含めるもの	✕ 鏡視下治療に含めないもの
肺癌の胸腔鏡補助下手術	胃癌・大腸癌での粘膜下層剥離術(ESD) ➡ ②内視鏡的治療 (自然開口部からの挿入)
胃癌の腹腔鏡下手術	
腎癌の後腹膜鏡補助下手術	開頭手術における光学機器による視野を用いた病巣切除術 ➡ ⑮外科的治療 (肉眼的視野に近い)
乳癌に対する内視鏡下切除術 (腋窩あるいは乳輪等に皮膚切開をして内視鏡を挿入)	
直腸癌に対する経肛門的内視鏡下マイクロサージェリー(TEM)	
自然開口部以外を介した光学機器による視野を用いて行われるロボット手術	
経管腔的内視鏡手術(NOTES)	
GIST・平滑筋肉腫に対する腹腔鏡内視鏡合同胃局所切除術(LECS)	
自然開口部経由であっても、管腔壁(消化管・尿路・産道等)に侵入路を切開等の手技で作成・挿入する場合。	
レーザー等を腫瘍の焼灼ではなく切除の手段として用い、自然孔からの挿入ではない広義の内視鏡等の光学機器を用いて、開胸術や開腹術と同様の治療が行われた場合。	
検査として鏡視下で行われた処置において、結果的に治療が完結した場合の当該処置	

②⑩ 内視鏡的治療の有無

【内視鏡的治療の定義】

自然開口部(*)を介して挿入された光学機器(内視鏡)の視野を用いた病巣切除術を『内視鏡治療』と定義します。

*口唇(腔)、鼻孔(腔)、尿道口、肛門、膣口、乳管等を指す。

★症状の緩和を目的に行われた治療は含みません。

◎ 内視鏡的治療に含めるもの	✕ 内視鏡的治療に含めないもの
膀胱癌のTUR-BT	乳癌に対する内視鏡下切除術 ➡ ⑱鏡視下治療 (自然開口部からの挿入ではないため)
前立腺癌のHoLEP(経尿道的ホルミニウムレーザー前立腺核出術)	胃癌のアルゴンプラズマ凝固療法(APC) ➡ ㉔その他の治療 (病巣の切除ではなく、凝固療法のため)
胃癌・大腸癌での粘膜下層剥離術(ESD)	自然開口部経由であっても、管腔壁(消化管・尿路・産道等)に侵入路を切開等の手技で作成・挿入する場合 ➡ ⑱鏡視下治療
頭頸部領域における「経鼻的」、「経口的」治療	
レーザー等を腫瘍の焼灼ではなく切除の手段として用い、内視鏡等の光学機器の視野下で病巣切除術が行われた場合。	
検査として内視鏡の視野下で行われた処置において、結果的に治療が完結した場合の当該処置	

② 外科的・鏡視下・内視鏡的治療(観血的治療)の範囲

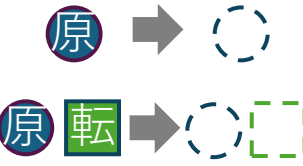
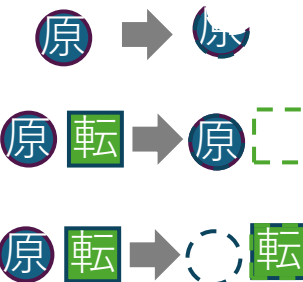
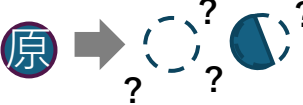
●腫瘍が残存しない状況になったかどうかを把握するための項目

「当該がんの縮小・消失を目的に腫瘍に対して行われた初回治療」に限って、評価を行います。

当該がんに対して最初に計画されたものでない治療は含みません。

初回治療として行われた観血的治療(外科的治療、鏡視下治療及び内視鏡的治療)における、治療の範囲を、その総合的な結果を含めて判断します。

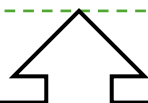
【コードの選択】

1.腫瘍遺残 なし	原発巣切除 遺残なし 	初回治療として行われた観血的治療において、原発巣が切除され、体内には腫瘍が遺残していないと考えられる場合。 原発巣と転移巣の両方を切除した結果、腫瘍が遺残していないと考えられる場合を含む。 観血的治療後に転移巣が存在・残存している場合は、含めない。
4.腫瘍遺残 あり	姑息的な観血的治療 遺残あり 	初回治療として行われた観血的治療において原発巣および/又は転移巣が切除されたが、腫瘍が遺残している場合。 原発巣切除を伴わない転移巣の切除、あるいは転移巣の切除を伴わない原発巣の切除の場合。
6.観血的治療 なし	手術なし ⑫治療施設が「1.4.8」の場合	初回治療としての観血的治療が施行されなかった場合。 自施設で外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療のいずれも行われなかった場合。
9.不明	実施の有無不明 または 腫瘍遺残の有無不明 	観血的治療の実施の有無が不明の場合 ※「自施設で実施したかどうか」の判断は、「診療録(診療計画)等に記載があるかどうか」で判断してください。 腫瘍の遺残の有無が不明、または未記載の場合。

② 放射線療法の有無

【放射線療法の定義】

X線やγ線等の電磁放射線、あるいは陽電子線や重イオン等の粒子放射線による腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療を放射線療法と定義します。



当該腫瘍に対して、最初に計画された治療内容に、「**症状の緩和**」を目的とした放射線治療がある場合も、この項に含めます。
（「放射線療法：1.自施設で施行」とします。）

◎ 放射線療法に含めるもの	✕ 放射線療法に含めないもの
重粒子線・陽子線・中性子線などの荷電粒子線を利用した治療	初回の治療計画に含まれていない照射 (疼痛緩和のための緊急照射など)
分子標的薬と放射性同位元素の両方の作用を狙った治療 (例:イブリツモマブチウキセタン) ➡ ③化学療法 + ②放射線療法	
甲状腺 I-131内用療法 (放射性ヨード内用療法)	
小線源による治療 (前立腺、子宮、眼部腫瘍等)	
放射線療法が、当初の予定線量に達せずに、中断になった場合。	

②③ 化学療法の有無

【化学療法の定義】

薬剤による細胞毒性(抗悪性腫瘍薬、一部の抗菌薬、一部のステロイド製剤)や細胞増殖阻害(分子標的薬)によって、腫瘍の縮小又は消失をはかる治療を、その投与経路は問わず、化学療法と定義します。

◎ 化学療法に含めるもの	✕ 化学療法に含めないもの
分子標的薬と放射性同位元素の両方の作用を狙った治療 (例:イブリツモマブチウキセタン) ➡ ②③化学療法 + ②放射線療法	血液腫瘍におけるステロイド単剤療法 ➡ ②④内分泌療法
肝動脈化学塞栓療法のような血管塞栓術も併用した抗がん剤投与 (肝動脈化学塞栓療法[TACE]) ➡ ②③化学療法 + ⑤その他の治療	甲状腺 I-131内用療法 (放射性ヨード内用療法) ➡ ②放射線療法
免疫療法薬とされる分子標的薬の薬物治療 (例:ニボルマブ) ※機序を問わず、分子標的薬は化学療法とする。	免疫療法(分子標的薬を除く) ➡ ⑤その他の治療
MALTリンパ腫に対する、腫瘍縮小・消失目的でのピロリ菌除菌	
化学療法が、当初の予定投与量・回数に達せずに、中断となった場合。	

②④ 内分泌療法の有無

【内分泌療法の定義】

特定のホルモン分泌を抑制をすることで腫瘍の増殖を阻止する目的で薬剤又はホルモン分泌器官の切除により、腫瘍の縮小又は消失をはかる治療と定義します。

◎ 内分泌療法に含めるもの	✕ 内分泌療法に含めないもの
エストロゲン依存性腫瘍に対する 卵巣摘出術	複数薬剤と同時期にステロイド剤を 投与する場合 ➡ ②③化学療法
前立腺癌における除睾術	甲状腺癌術後に低下する甲状腺ホルモンを 補う目的での治療
血液腫瘍におけるステロイド単剤療法	免疫療法(分子標的薬を除く) ➡ ②⑤その他の治療
甲状腺癌に対するTSH抑制療法	
内分泌療法が、当初の予定投与量・回数に 達せずに、中断となった場合。	

㊦ その他の治療の有無

【その他の治療の定義】

外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法のいずれにも該当しない機序で、腫瘍の縮小又は消失をはかる治療と定義します。

◎ その他の治療に含めるもの	✕ その他の治療に含めないもの
免疫療法（分子標的薬を除く） （膀胱癌BCG注入、肝癌インターフェロン α 等）	・術後のリハビリ、経過観察 ・腫瘍の縮小・消失を目的としていない 当該腫瘍以外の放射線照射（緩和照射） ・ステント留置術 ・人工肛門造設術 ・経皮経胆管ドレナージ ・高気圧酸素療法 ➡ 緩和的治療なので、初回治療（⑱外科的治療～㉕その他の治療）に含めない。
肝動脈化学塞栓療法（TACE） ➡ ②化学療法 ＋ ㉕その他の療法	
血管塞栓術も併用した抗がん剤投与 ➡ ②化学療法 ＋ ㉕その他の治療	
血管塞栓術（TAE等）	
光線（光学）的焼灼術（レーザー治療） 光線力学的治療	
電磁波（ラジオ波など）を用いた腫瘍焼灼術（RFA等）	
エタノール注入療法（PEIT）等	輸血 ➡ 支持療法なので、初回治療（⑱外科的治療～㉕その他の治療）に含めない。
アルゴンプラズマ凝固療法（APC）	
温熱療法（ハイパーサーミア）	
造血幹細胞移植	
その他の治療が、当初の予定回数に達せず に、中断となった場合。	

Ⅲ.付録

- 届出項目⇔届出マニュアル参照ページ 早見表
- 進展度 UICC TNM分類対応表 (UICC 8th)
- 問い合わせ先

届出項目 ⇔ 届出マニュアル 参照ページ 早見表

	項目番号 項目名	2026版	2025版
患者基本情報	① 病院等の名称	29	27
	② 診療録番号	30	28
	③ カナ氏名	31	29
	④ 氏名	32	30
	⑤ 性別	33	31
	⑥ 生年月日	34	32
	⑦ 診断時住所	35	33
腫瘍情報	⑧ 側性	36	34
	⑨ 原発部位 大分類 詳細分類	37	35
	⑩ 病理診断 組織型・性状	38	36
	⑪ 診断施設	40	38
	⑫ 治療施設	41	39
	⑬ 診断根拠	42	40
	⑭ 診断日	44	42
	⑮ 発見経緯	45	43
	⑯ 進展度・治療前	46	44
	⑰ 進展度・術後病理学的	47	45
初回の治療情報	⑱ 外科的治療の有無	48	46
	⑲ 鏡視下治療の有無	50	48
	⑳ 内視鏡的治療の有無	52	50
	㉑ 外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲 (観血的治療の範囲)	54	52
	㉒ 放射線療法の有無	55	53
	㉓ 化学療法の有無	56	54
	㉔ 内分泌療法の有無	58	56
	㉕ その他の治療の有無	59	57
その他 その状況時	㉖ 死亡日	60	59
	備考	61	60

進展度 UICC TNM分類対応表 (UICC 8th)

2022 年 07 月 25 日更新

進展度, UICC TNM 分類対応表 (72 部位, UICC 第 8 版準拠)

(1) 口唇及び口腔 (頬粘膜, 歯槽・歯肉, 硬口蓋, 舌, 口腔底)

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (最大径≤2cm, 深達度≤5mm) T2 (最大径≤2cm, 5mm<深達度/ 2cm<最大径≤4cm, 深達度≤10mm)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T3 (2cm<最大径≤4cm, 10mm<深達度/ 4cm<最大径, 深達度≤10mm) T4a (4cm<最大径, 10mm<深達度/ 口唇: 骨内/下歯槽神経/口腔底/皮膚に浸潤 口腔: 骨内/上顎洞/顔面皮膚に浸潤) T4b (咀嚼筋間隙/翼状突起/頭蓋底に浸潤/内頸動脈全周を取囲む)
遠隔転移	M1

(2) 中咽頭

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (最大径≤2cm) T2 (2cm<最大径≤4cm)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T3 (4cm<最大径/喉頭蓋舌面進展) T4a (喉頭/舌深層筋肉(外舌筋)/内側翼突筋/硬口蓋/下顎骨に浸潤) T4b (外側翼突筋/翼状突起/上咽頭側壁/頭蓋底に浸潤/頸動脈全周を取囲む)
遠隔転移	M1

(3) p16陽性中咽頭

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (最大径≤2cm) T2 (2cm<最大径≤4cm)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T3 (4cm<最大径/喉頭蓋舌面進展) T4 (喉頭/舌深層筋肉(外舌筋)/内側翼突筋/硬口蓋/下顎骨/外側翼突筋/翼状突起/ 上咽頭側壁/頭蓋底に浸潤/頸動脈全周を取囲む)
遠隔転移	M1

(4) 上(鼻)咽頭

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (上咽頭限局/中咽頭/鼻腔に浸潤) T2 (傍咽頭間隙/内側翼突筋/外側翼突筋/椎前筋に浸潤)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T3 (頭蓋底/頸椎/翼状突起/副鼻腔に浸潤) T4 (頭蓋内/脳神経/下咽頭/眼窩/耳下腺/外側翼突筋外側表面に浸潤)
遠隔転移	M1

(5) 下咽頭

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (最大径 $\leq$ 2 cm/1 亜部位) T2 (2 cm<最大径 $\leq$ 4 cm/2 亜部位以上)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T3 (4cm<最大径/片側喉頭の固定/食道浸潤) T4a (甲状軟骨/輪状軟骨/舌骨/甲状腺/頸部正中軟部組織に浸潤) T4b (椎前筋膜/縦隔に浸潤/頸動脈全周を取囲む)
遠隔転移	M1

(6) 喉頭

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 T2 T3
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T4
遠隔転移	M1

(注) TNMでは詳細部位(声門上, 声門, 声門下)毎にTを規定。

(7) 上顎洞

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (上顎洞粘膜に限局) T2 (骨破壊あり)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T3 (上顎洞後壁骨/皮下組織/眼窩底/眼窩内側壁/翼突窩/篩骨洞) T4a (眼窩内容前部/頬部皮膚/翼状突起/側頭下窩/篩板/蝶形洞/前頭洞) T4b (眼窩尖端/硬膜/脳/中頭蓋窩/三叉神経第二枝以外の脳神経/上咽頭/斜台)
遠隔転移	M1

(8) 鼻腔・篩骨洞

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (1 亜部位に限局) T2 (2 亜部位/鼻腔/篩骨洞の両方に浸潤)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T3 (眼窩内側壁/眼窩底/上顎洞/口蓋/篩板) T4a (眼窩内容前部/外鼻/頬部皮膚/前頭蓋窩/翼状突起/蝶形洞/前頭洞) T4b (眼窩尖端/硬膜/脳/中頭蓋窩/三叉神経第二枝以外の脳神経/上咽頭/斜台)
遠隔転移	M1

(9) 原発不明—頸部リンパ節

進展度	TNM 分類
領域リンパ節転移	N1-N3
遠隔転移	M1

(10) 上気道消化管の悪性黒色腫

進展度	TNM 分類
上皮内	T3 (上皮)
限局	T3 (粘膜下に限局)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T4a (軟部組織深部/軟骨/骨/皮膚) T4b (脳/硬膜/頭蓋底/下位脳神経/咀嚼筋間隙/頸動脈/椎前間隙/縦隔)
遠隔転移	M1

(11) 大唾液腺 (耳下腺, 顎下腺, 舌下腺)

進展度	TNM 分類
限局	T1 (最大径 $\leq$ 2cm, 実質外進展なし) T2 (2cm<最大径 $\leq$ 4cm, 実質外進展なし)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T3 (4cm<最大径/実質外進展あり) T4a (皮膚/下顎骨/外耳道/顔面神経) T4b (頭蓋底/翼状突起に浸潤/頸動脈全周を取囲む)
遠隔転移	M1

(12) 甲状腺

進展度	TNM 分類
限局	T1 (最大径 $\leq$ 2cm, 甲状腺限局) T2 (2cm<最大径 $\leq$ 4cm, 甲状腺限局) T3a (4cm<最大径, 甲状腺限局)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T3b (前頸筋群に浸潤) T4a (皮下軟部組織/喉頭/気管/食道/反回神経) T4b (椎前筋膜/縦隔内血管/頸動脈全周を取囲む)
遠隔転移	M1

(13) 食道と食道胃接合部

進展度	取扱い規約	TNM 分類
上皮内	T1a-EP	Tis
限局	T1a-LPM, T1a-MM, T1b (SM) T2 (MP)	T1a (LPM, MM), T1b (SM) T2 (MP)
領域リンパ節転移	n1, (n2), (n3), (n4) (占居部位により規定, TNM と異なる)	N1-N3
隣接臓器浸潤	T3 (AD) T4a (AI 胸膜/心膜/横隔膜/肺/胸管/奇静脈/神経) T4b (AI 大動脈/気管/気管支/肺静脈/肺動脈/椎体)	T3 (AD 食道外膜) T4a (AI 胸膜/心膜/奇静脈/横隔膜/腹膜) T4b (AI 大動脈/椎体/気管)
遠隔転移	(n2), (n3), (n4) M1	M1

(14) 胃

進展度	取扱い規約	TNM 分類
限局	T1a (M), T1b (SM) T2 (MP) T3 (SS)	T1a (M), T1b (SM) T2 (MP) T3 (SS)
領域リンパ節転移	n1-n3	N1-N3
隣接臓器浸潤	T4a (SE), T4b (SI)	T4a (SE), T4b (SI)
遠隔転移	P1 (腹膜播種性転移) CY1 (洗浄細胞診陽性) H1 (肝転移) M1 (遠隔転移)	M1

(15) 消化管間質腫瘍 (GIST)

進展度	TNM 分類
限局	T1 (最大径≤2cm) T2 (2cm<最大径≤5cm) T3 (5cm<最大径≤10cm)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T4 (10cm<最大径)
遠隔転移	M1

(16) 小腸

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1a (粘膜固有層), T1b (粘膜下層) T2 (固有筋層) T3 (漿膜下層/筋層周囲組織へ浸潤)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臓器浸潤	T4 (臓器腹膜を貫通/他臓器・構造へ浸潤)
遠隔転移	M1

(17) 虫垂

進展度	取扱い規約	TNM 分類
上皮内	Tis (M)	Tis (M), Tis (LAMN)
限局	T1 (SM) T2 (MP) T3 (SS, A)	T1 (SM) T2 (MP) T3 (SS/虫垂間膜)
領域リンパ節転移	n1-n3 (n3は主リンパ節への転移)	N1-N2
隣接臓器浸潤	T4a (SE) T4b (SI)	T4a (SE/虫垂漿膜・虫垂間膜上の粘液) T4b (SI)
遠隔転移	M1a-M1b	M1a-M1c

(18) 結腸，直腸

進展度	取扱い規約	TNM 分類
上皮内	Tis (M)	Tis (M)
限局	T1 (SM) T2 (MP) T3 (SS, A)	T1 (SM) T2 (MP) T3 (SS, A)
領域リンパ節転移	n1-n3 (n3 は主リンパ節/側方リンパ節への転移)	N1-N2
隣接臓器浸潤	T4a (SE) T4b (SI, AI)	T4a (SE) T4b (SI, AI)
遠隔転移	M1a-M1b	M1a-M1c

(19) 肛門管，肛門周囲皮膚

進展度	取扱い規約	TNM 分類
上皮内	Tis	Tis (上皮内)
限局	T1 T2 T3	T1 (最大径 ≤ 2cm) T2 (2cm < 最大径 ≤ 5cm) T3 (5cm < 最大径)
領域リンパ節転移	n1 (1-3 個の転移) n2 (4 個以上の転移) n3	N1a-N1c
隣接臓器浸潤	T4	T4 (隣接臓器浸潤)
遠隔転移	M1a-M1b	M1

(20) 胃高分化型神経内分泌腫瘍 (カルチノイド)

進展度	TNM 分類
限局	T1 (粘膜/粘膜下層，最大径 ≤ 1cm) T2 (固有筋層 / 1cm < 最大径) T3 (漿膜下層)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T4 (漿膜を貫通 / 隣接臓器浸潤)
遠隔転移	M1a-M1c

(21) 十二指腸，膨大部高分化型神経内分泌腫瘍 (カルチノイド)

進展度	TNM 分類
限局	T1 (十二指腸：粘膜/粘膜下層，最大径 ≤ 1cm，膨大部：Oddi 筋内，最大径 ≤ 1cm) T2 (十二指腸：固有筋層 / 1cm < 最大径，膨大部：粘膜下層/固有筋層 / 1cm < 最大径)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T3 (膵臓/膵周囲脂肪) T4 (漿膜を貫通 / 隣接臓器浸潤)
遠隔転移	M1a-M1c

(22) 空腸，回腸高分化型神経内分泌腫瘍 (カルチノイド)

進展度	TNM 分類
限局	T1 (粘膜固有層/粘膜下層，最大径 ≤ 1cm) T2 (固有筋層 / 1cm < 最大径) T3 (漿膜下層)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臓器浸潤	T4 (漿膜を貫通，隣接臓器浸潤)
遠隔転移	M1a-M1c

(23) 虫垂高分化型神経内分泌腫瘍（カルチノイド）

進展度	TNM 分類
限局	T1（最大径≤2 cm） T2（2cm<最大径≤4cm） T3（4cm<最大径／漿膜下層／虫垂間膜）
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T4（腹膜を貫通／隣接臓器／構造浸潤）
遠隔転移	M1a-M1c

(24) 大腸高分化型神経内分泌腫瘍（カルチノイド）

進展度	TNM 分類
限局	T1a（粘膜固有層／粘膜下層，最大径<1cm） T1b（粘膜固有層／粘膜下層，1 cm≤最大径≤2 cm） T2（固有筋層／2cm<最大径） T3（漿膜下層／結腸直腸周囲組織）
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T4（臓器腹膜を貫通／隣接臓器浸潤）
遠隔転移	M1a-M1c

(25) 膵高分化型神経内分泌腫瘍

進展度	TNM 分類
限局	T1（膵に限局，最大径≤2 cm） T2（膵に限局，2 cm<最大径≤4cm） T3（膵に限局，4cm<最大径／十二指腸／胆管に浸潤）
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T4（隣接臓器浸潤または腹腔動脈または上腸間膜動脈の血管壁に浸潤）
遠隔転移	M1a-M1c

(26) 肝－肝細胞癌

進展度	取扱い規約	TNM 分類
限局	T1 T2	T1a（単発，最大径≤2cm） T1b（単発，2cm<最大径，血管侵襲なし） T2（単発，血管侵襲あり*1，2cm<最大径／多発，最大径≤5cm） T3（多発，5cm<最大径）
領域リンパ節転移	N1	N1
隣接臓器浸潤	T3 T4	T4（門脈／肝静脈の大分枝*2に浸潤／胆嚢以外の隣接臓器浸潤／ 臓器腹膜貫通）
遠隔転移	M1 P1-2	M1

*1 Vp1-2, Vv1。*2 Vp3-4, Vv2-3。

(27) 肝内胆管

進展度	取扱い規約*	TNM 分類
上皮内		Tis
限局	T1 T2	T1a (単発, 最大径 $\leq 5\text{cm}$, 血管侵襲なし) T1b (単発, $5\text{cm} < \text{最大径}$, 血管侵襲なし) T2 (単発, 血管侵襲あり/多発)
領域リンパ節転移	N1	N1
隣接臓器浸潤	T3 T4	T3 (臓側腹膜貫通) T4 (隣接臓器浸潤)
遠隔転移	M1 P1-2	M1

*1 「腫瘤形成型」及び「その優越型」に適用。

(28) 胆嚢

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1a (粘膜固有層) T1b (筋層)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臓器浸潤	T2a T2b (筋層周囲結合組織) T3 (漿膜/肝臓/肝臓以外 1 臓器に浸潤) T4 (門脈/肝動脈に浸潤/肝臓以外 2 臓器に浸潤)
遠隔転移	M1

(29) 肝外胆管—肝門部

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (胆管壁に限局)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臓器浸潤	T2a (胆管周囲脂肪組織浸潤) T2b (肝実質浸潤) T3 (門脈/肝動脈片側分枝浸潤) T4 (門脈本幹/門脈両側分枝/総肝動脈/片側胆管二次分枝, 対側門脈/肝動脈浸潤)
遠隔転移	M1

(30) 肝外胆管—遠位

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (深さ $< 5\text{mm}$)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臓器浸潤	T2 ($5\text{mm} \leq \text{深さ} \leq 12\text{mm}$) T3 ($12\text{mm} < \text{深さ}$) T4 (腹腔動脈/上腸間膜動脈/総肝動脈に浸潤)
遠隔転移	M1

(31) Vater乳頭部

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1a (Vater 膨大部/Oddi 括約筋)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臓器浸潤	T1b (十二指腸粘膜下層) T2 (十二指腸固有筋層) T3 (膵臓/膵臓外に浸潤) T4 (腹腔動脈/上腸間膜動脈/総肝動脈に浸潤)
遠隔転移	M1

(32) 膵

進展度	取扱い規約	TNM 分類
上皮内	Tis	Tis
限局	T1 (膵に限局, ≤ 2 cm) T2 (膵に限局, 2 cm <)	T1 (最大径 ≤ 2 cm) T2 (2 cm < 最大径 ≤ 4 cm)
領域リンパ節転移	N1a-N1b	N1-N2
隣接臓器浸潤	T3 (膵外に浸潤) T4 (腹腔動脈/上腸間膜動脈に浸潤)	T3 (4cm < 最大径) T4 (腹腔動脈/上腸間膜動脈/総肝動脈に浸潤)
遠隔転移	M1 (P1, H1)	M1

(33) 主気管支・気管支・肺

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1mi (充実成分径 ≤ 0.5 cm, 病変全体径 ≤ 3 cm) T1a (充実成分径 ≤ 1 cm) T1b (1 cm < 充実成分径 ≤ 2 cm) T1c (2 cm < 充実成分径 ≤ 3 cm) T2a (3 cm < 充実成分径 ≤ 4 cm / 主気管支/臓側胸膜浸潤/肺門部までの無気肺) T2b (4 cm < 充実成分径 ≤ 5 cm / 主気管支/臓側胸膜浸潤/肺門部までの無気肺)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臓器浸潤	T3 (5 cm < 充実成分径 ≤ 7 cm / 壁側胸膜/胸壁/横隔神経/心臓に浸潤 / 同肺葉の副腫瘍結節) T4 (7 cm < 充実成分径 / 横隔膜/縦隔/心臓/大血管/気管/反回神経/食道/椎体/気管分岐部に浸潤 / 同側別肺葉の副腫瘍結節)
遠隔転移	N3 M1a-M1c

(34) 胸膜中皮腫

進展度	TNM 分類
限局	T1 (同側胸膜)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T2 (同側胸膜, 横隔膜筋層/肺実質に浸潤) T3 (同側胸膜, 内胸筋膜/縦隔脂肪/胸壁軟部組織/心臓に浸潤)
遠隔転移	T4 (同側胸膜, 胸壁多発性/腹膜/対側胸膜/食道/気管/心臓/大血管/椎骨/神経孔/脊髄/心臓内腔に浸潤) N2 M1

(35) 胸腺腫瘍

進展度	TNM 分類
限局	T1a (胸腺内)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臓器浸潤	T1b (縦隔胸膜浸潤) T2 (心嚢浸潤) T3 (肺/腕頭静脈/上大静脈/横隔神経/胸壁/心嚢外肺動静脈に浸潤) T4 (大動脈/弓部血管/心嚢内肺動脈/心筋/気管/食道に浸潤)
遠隔転移	M1a-M1b

(36) 骨—四肢骨, 体幹骨, 頭蓋骨, 顔面骨

進展度	TNM 分類
限局	T1 (最大径 $\leq$ 8cm)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T2 (8cm<最大径) T3 (非連続性腫瘍)
遠隔転移	M1a-M1b

(37) 骨—脊椎骨

進展度	TNM 分類
限局	T1 (1-2 脊椎区域) T2 (3 脊椎区域) T3 (4 脊椎区域)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T4a (脊柱管浸潤) T4b (血管浸潤/腫瘍血栓)
遠隔転移	M1a-M1b

(38) 骨—骨盤骨

進展度	TNM 分類
限局	T1a (最大径 $\leq$ 8cm, 1 骨盤区域, 骨外進展なし) T1b (8cm<最大径, 1 骨盤区域, 骨外進展なし) T2a (最大径 $\leq$ 8cm, 1 骨盤区域, 骨外進展あり/2 骨盤区域, 骨外進展なし)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T2b (8cm<最大径, 1 骨盤区域, 骨外進展あり/2 骨盤区域, 骨外進展なし) T3a (最大径 $\leq$ 8cm, 2 骨盤区域, 骨外進展あり) T3b (8cm<最大径, 2 骨盤区域, 骨外進展あり) T4a (3 骨盤区域/仙骨神経孔進展) T4b (外腸骨動脈浸潤/骨盤静脈腫瘍血栓)
遠隔転移	M1a-M1b

(39) 軟部組織—四肢, 軀幹浅部, 後腹膜

進展度	TNM 分類
限局	T1 (最大径 $\leq$ 5cm)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T2 (5cm<最大径 $\leq$ 10cm) T3 (10cm<最大径 $\leq$ 15cm) T4 (15cm<最大径)
遠隔転移	M1

(40) 軟部組織—頭頸部

進展度	TNM 分類
限局	T1 (最大径 $\leq$ 2cm) T2 (2cm<最大径 $\leq$ 4cm)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T3 (4cm<最大径) T4a (眼窩/頭蓋底/硬膜/正中臓器/顔面骨格/翼突筋に浸潤) T4b (脳実質/椎前筋/中枢神経に浸潤/頸動脈を取囲む)
遠隔転移	M1

(41) 軟部組織—胸部, 腹部臓器

進展度	TNM 分類
限局	T1 (単一臓器に限局)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T2a (漿膜/臓側腹膜に浸潤) T2b (漿膜をこえた顕微鏡的進展) T3 (2 臓器浸潤/漿膜をこえた肉眼的進展) T4a (2 部位以下多病巣性腫瘍) T4b (3-5 部位多病巣性腫瘍) T4c (6 部位以上多病巣性腫瘍)
遠隔転移	M1

(42) 皮膚癌 (眼瞼, 頭頸部, 肛門周囲, 外陰, 陰茎を除く)

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (最大径 $\leq$ 2cm) T2 (2cm<最大径 $\leq$ 4cm)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T3 (4cm<最大径/骨びらん/神経周囲/深部に浸潤) T4a (軟骨/骨髄に浸潤) T4b (椎間孔/中軸骨格に浸潤)
遠隔転移	M1

(43) 皮膚癌 (頭頸部)

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (最大径 $\leq$ 2cm) T2 (2cm<最大径 $\leq$ 4cm)
領域リンパ節転移	N1-N3b
隣接臓器浸潤	T3 (4cm<最大径/骨びらん/神経周囲/深部に浸潤) T4a (軟骨/骨髄に浸潤) T4b (頭蓋底/中軸骨格/椎間孔に浸潤)
遠隔転移	M1

(44) 眼瞼の皮膚癌

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1a-T1c (最大径 $\leq$ 10mm) T2a-T1c (10mm<最大径 $\leq$ 20mm) T3a-T3c (20mm<最大径)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臓器浸潤	T4a (眼球/眼窩内組織に浸潤) T4b (眼窩骨/副鼻腔/涙嚢/鼻涙管/脳に浸潤)
遠隔転移	M1

(45) 皮膚(外陰、陰茎、陰囊を含む)の悪性黒色腫

進展度	TNM 分類
上皮内	pTis
限局	pT1a-T1b (厚さ $\leq$ 1mm) pT2a-T2b (1mm<厚さ $\leq$ 2mm) pT3a-T3b (2mm<厚さ $\leq$ 4mm)
領域リンパ節転移	N1a-N3c
隣接臓器浸潤	pT4a-T4b (厚さ>4mm)
遠隔転移	M1a-M1d

(46) 皮膚メルケル細胞癌

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (最大径 $\leq$ 2cm) T2 (2 cm<最大径 $\leq$ 5cm) T3 (最大径>5cm)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T4 (軟骨/骨格筋/筋膜/骨に浸潤)
遠隔転移	M1a-M1c

(47) 乳房

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis (非浸潤または腫瘍を認めない Paget 病)
限局	T1mi-T1c (最大径 $\leq$ 2cm) T2 (2 cm<最大径 $\leq$ 5 cm) T3 (5 cm<最大径)
領域リンパ節転移	N1-N3b
隣接臓器浸潤	T4a-T4d (胸壁/皮膚に直接進展, 炎症性乳癌)
遠隔転移	N3c M1

(48) 外陰

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1a-T1b (外陰/会陰に限局)
領域リンパ節転移	N1a-N3
隣接臓器浸潤	T2 (下部尿道/膣下部/肛門に浸潤) T3 (上部尿道/膣上部/膀胱粘膜/直腸粘膜に浸潤/骨盤骨に固定)
遠隔転移	M1

(49) 膣

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (膣に限局)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T2 (膣傍組織に浸潤) T3 (骨盤壁に浸潤) T4 (直腸/膀胱粘膜に浸潤/小骨盤をこえて浸潤)
遠隔転移	M1

(50) 子宮頸部

進展度	FIGO 進行期	TNM 分類
上皮内	0	Tis
限局	I	T1a1-T1b2 (頸部に限局)
領域リンパ節転移	n1	N1
隣接臓器浸潤	II III IVA	T2a-T2b (子宮をこえて浸潤) T3a-T3b (骨盤壁/膣下 1/3 に浸潤) T4 (直腸/膀胱粘膜に浸潤/小骨盤をこえて浸潤)
遠隔転移	IVB	M1

(51) 子宮内膜 (子宮体部)

進展度	FIGO 進行期	TNM 分類
上皮内	0	Tis
限局	I	T1a-T1b (体部に限局)
領域リンパ節転移	n1	N1-N2
隣接臓器浸潤	II III IVA (膀胱、直腸の粘膜に浸潤、真の骨盤を越えて進展)	T2 (頸部浸潤) T3a-T3b (漿膜/付属器/周辺組織への浸潤・転移) T4 (膀胱粘膜/腸管粘膜に浸潤)
遠隔転移	IVB	M1

(52) 子宮肉腫—平滑筋肉腫、子宮内膜間質肉腫、腺肉腫共通

進展度	FIGO 進行期	TNM 分類
上皮内	0	Tis
限局	I	T1a-T1c (子宮に限局)
領域リンパ節転移	n1	N1
隣接臓器浸潤	II III IVA (膀胱、直腸の粘膜に浸潤、真の骨盤を越えて進展)	T2a-T2b (骨盤内に浸潤) T3a-T3b (骨盤外腹部組織に浸潤) T4 (膀胱/直腸粘膜に浸潤)
遠隔転移	IVB	M1

(53) 卵巣・卵管・腹膜癌

進展度	FIGO 進行期	TNM 分類
限局	I I A I B	T1 (卵巣卵管に限局) T1a (一側) T1b (両側)
領域リンパ節転移		N1 N1a N1b
隣接臓器浸潤	I C II III	T1c (被膜破綻／表面露出／腹水／洗浄液に悪性細胞) T2a-T2b (骨盤内に進展) T3a-T3c (骨盤外腹膜転移)
遠隔転移	IV	M1a-M1b (遠隔転移)

(54) 妊娠絨毛性腫瘍

進展度	TNM 分類
限局	T1 (子宮に限局)
隣接臓器浸潤	T2 (腔/卵巣/広間膜/卵管に浸潤)
遠隔転移	M1

(55) 陰茎

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis (上皮内癌) Ta (非浸潤局所扁平上皮癌)
限局	T1a-T1b (上皮下結合組織に浸潤) T2 (尿道海綿体に浸潤) T3 (陰茎海綿体に浸潤)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T4 (他隣接構造に浸潤)
遠隔転移	M1

(56) 前立腺

進展度	TNM 分類
限局	T1a-T1c (触知不能, 画像診断不能) T2a-T2c (前立腺に限局)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T3a-T3b (被膜を越えて浸潤) T4 (精囊以外の隣接構造に浸潤)
遠隔転移	M1a-M1c

(57) 精巣

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	pT1 (精巣/精巣上体に限局, 尿管侵襲なし, 浸潤は白膜まで) pT2 (精巣/精巣上体に限局, 尿管侵襲あり/浸潤は鞘膜まで)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	pT3 (精索浸潤) pT4 (陰嚢浸潤)
遠隔転移	M1a-M1b

(58) 腎臓

進展度	TNM 分類
限局	T1a-T1b (最大径≤7 cm, 腎に限局) T2a-T2b (7 cm<最大径, 腎に限局)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T3a-T3c (主静脈/腎周囲脂肪に進展) T4 (Gerota 筋膜をこえて浸潤/同側副腎進展)
遠隔転移	M1

(59) 腎盂, 尿管

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis (上皮内癌) Ta (乳頭状非浸潤)
限局	T1 (上皮結合組織) T2 (筋層浸潤)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臓器浸潤	T3 (腎盂: 腎周囲脂肪組織/腎実質浸潤, 尿管: 尿管周囲脂肪組織浸潤) T4 (隣接臓器/腎周囲脂肪組織に浸潤)
遠隔転移	M1

(60) 膀胱

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis (上皮内癌) Ta (乳頭状非浸潤)
限局	T1 (粘膜下結合組織に浸潤) T2a-T2b (筋層に浸潤)
領域リンパ節転移	N1-N3
隣接臓器浸潤	T3a-T3b (膀胱周囲組織浸潤) T4a (前立腺/精囊/子宮/陰に浸潤) T4b (骨盤壁/腹壁に浸潤)
遠隔転移	M1a-M1b

(61) 尿道 (男性・女性)、前立腺部尿道

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis (上皮内癌) Ta (乳頭状/疣贅性非浸潤癌) Tis pu (上皮内癌 前立腺部尿道)
限局	T1 (上皮結合組織に浸潤) T2 (尿道海綿体/前立腺/尿道周囲筋層に浸潤)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臓器浸潤	T3 (陰茎海綿体/前立腺被膜外/膀胱頸部に浸潤) T4 (他隣接臓器に浸潤)
遠隔転移	M1

(62) 副腎皮質腫瘍

進展度	TNM 分類
限局	T1 (最大径 ≤ 5 cm) T2 (5 cm < 最大径)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T3 (周囲脂肪組織に浸潤) T4 (隣接臓器に浸潤)
遠隔転移	M1

(63) 結膜癌

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1 (最大径 ≤ 5mm) T2 (5mm < 最大径)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T3 (眼窩を除く隣接組織浸潤) T4a-T4d (眼窩/眼窩以遠に浸潤)
遠隔転移	M1

(64) 結膜悪性黒色腫

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1a-T1d (球結膜に限局) T2a-T2d (眼瞼結膜/円蓋部結膜/涙丘に波及)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T3a-T3d (眼球/眼瞼/眼窩/副鼻腔/鼻涙管/涙腺に浸潤)
遠隔転移	T4 (中枢神経系に浸潤) M1

(65) 虹彩悪性黒色腫

進展度	TNM 分類
限局	T1a-T1c (虹彩に限局) T2a-T2c (毛様体/脈絡膜に融合・進展) T3 (強膜進展)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T4a-T4b (強膜外に進展)
遠隔転移	M1a-M1c

(66) 毛様体および脈絡膜悪性黒色腫

進展度	TNM 分類
限局	T1, NOS (腫瘍サイズ区分 1) T1a (毛様体浸潤なし, 眼球外浸潤なし) T1b (毛様体浸潤あり, 眼球外浸潤なし) T2, NOS (腫瘍サイズ区分 2) T2a (毛様体浸潤なし, 眼球外浸潤なし) T2b (毛様体浸潤あり, 眼球外浸潤なし) T3, NOS (腫瘍サイズ区分 3) T3a (毛様体浸潤なし, 眼球外浸潤なし) T3b (毛様体浸潤あり, 眼球外浸潤なし) T4a (腫瘍サイズ区分 4, 毛様体浸潤なし, 眼球外浸潤なし) T4b (腫瘍サイズ区分 4, 毛様体浸潤あり, 眼球外浸潤なし)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T1c (腫瘍サイズ区分 1, 毛様体浸潤なし, 5mm 以下の眼球外浸潤) T1d (腫瘍サイズ区分 1, 毛様体浸潤あり, 5mm 以下の眼球外浸潤) T2c (腫瘍サイズ区分 2, 毛様体浸潤なし, 5mm 以下の眼球外浸潤) T2d (腫瘍サイズ区分 2, 毛様体浸潤あり, 5mm 以下の眼球外浸潤) T3c (腫瘍サイズ区分 3, 毛様体浸潤なし, 5mm 以下の眼球外浸潤) T3d (腫瘍サイズ区分 3, 毛様体浸潤あり, 5mm 以下の眼球外浸潤) T4, NOS (腫瘍サイズ区分 4) T4c (毛様体浸潤なし, 5mm 以下の眼球外浸潤) T4d (毛様体浸潤あり, 5mm 以下の眼球外浸潤) T4e (腫瘍サイズ区分関係なし, 5mm をこえる眼球外浸潤)
遠隔転移	M1a-M1c

(67) 網膜芽細胞腫

進展度	TNM 分類
限局	T1a-T1b (網膜限局, 網膜下液 5mm 以内, 網膜剥離なし) pT1 (眼球に限局) T2a-T2b (硝子体播種/網膜下播種/網膜剥離) pT2a-pT2b (眼球内浸潤) T3a-T3e (重篤な眼球内腫瘍) pT3a-pT3d (眼球内の著しい浸潤)
領域リンパ節転移	N1, pN1
隣接臓器浸潤	T4a-T4b (眼球外浸潤) pT4 (眼球外進展)
遠隔転移	M1a-M1b

(68) 眼窩肉腫

進展度	TNM 分類
限局	T1 (最大径 ≤ 20mm) T2 (20mm < 最大径)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T3 (骨壁に浸潤) T4 (眼球/眼窩周囲組織に浸潤)
遠隔転移	M1

(69) 涙腺癌

進展度	TNM 分類
限局	T1a (最大径 $\leq$ 2cm, 骨膜/骨浸潤なし) T2a (2cm<最大径 $\leq$ 4cm, 骨膜/骨浸潤なし) T3a (4cm<最大径/涙腺外の眼窩軟部組織進展, 骨膜/骨浸潤なし)
領域リンパ節転移	N1
隣接臓器浸潤	T1b, T2b, T3b (骨膜浸潤) T1c, T2c, T3c (骨浸潤)
遠隔転移	T4a-T4c (副鼻腔/側頭窩/翼突窩/上眼窩裂/海綿静脈洞/脳に浸潤) M1

(70) 脳及び脳髄膜

進展度	SEER
限局	大脳/小脳/脳幹の1側に限定 テント下腫瘍の1側に限定 脳室に限定/脳室系に浸潤
隣接臓器浸潤	正中線を越える侵襲 テント上から下又は逆 頭蓋骨/髄膜/主要血管/脳神経に浸潤 中枢神経系の外側に進展
遠隔転移	転移: 髄膜播種

(71) 脊髄

進展度	SEER
限局	脊柱管内に限局
隣接臓器浸潤	髄膜腫: 神経に浸潤 脳神経腫瘍: 髄膜/脳に浸潤 周囲軟部組織/筋組織に浸潤 主要血管/蝶形骨洞/前頭洞に浸潤
遠隔転移	脳神経腫瘍以外: 脳に浸潤 頭蓋骨以外の骨に浸潤/眼球に浸潤

(72) 悪性リンパ腫

進展度	TNM (Ann Arbor) 分類
限局	Stage I
隣接臓器浸潤	Stage II BulkyII
遠隔転移	Stage III Stage IV

問い合わせ先

全国がん登録の概要、
がん登録情報の利用・申出に関すること

兵庫県保健医療部 疾病対策課 がん対策班

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL 078-362-3202

E-mail shippeitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

全国がん登録 届出票の作成、提出、
届出内容に関すること

公益財団法人兵庫県健康財団 がん登録室

〒651-2103 神戸市西区学園西町6丁目3-1

TEL 078-793-9340 (平日9時～17時)

E-mail h-gantouroku@kenkozaidan.or.jp

がん登録オンラインシステム(GTOL)に
関すること

「GTOLにサインインできない」
「VPN接続ができない」など…

国立がん研究センター

「がん登録オンラインシステム専用問い合わせフォーム」から
お問い合わせください。

➡「がん登録オンラインシステム専用問い合わせフォーム」
<https://entry.gtol.ncc.go.jp/questions/create>

※ GTOLからも問い合わせができます。

➡GTOLへサインイン→トップページ→ヘルプ→[お問い合わせ]
【お問い合わせ内容入力】画面に内容入力して送信
(送信が完了すると、お問い合わせ内容の確認メールが届きます。)